

**若年無業者支援事業
とちぎユースワーク
カレッジ**

**栃木県委託事業
実施団体：とちぎユースサポーターズネットワーク**

まだ、どこにもない学びのスタイル それが「とちぎユースワークカレッジ」

若者の力を引き出し、その力を社会的課題の改善と活力ある栃木県づくりにいかします

青少年が、学びや実践的な体験を通じて、知識・感性・心・好奇心、そして責任感、主体性を育み、その力を社会が抱える様々な問題の改善への力に変えていきます。学力だけでなく、体験と社会貢献で若者を育てる、新しい学びがスタートします。

実施団体 NPO法人ユースサポーターズネットワーク

NPO法人ユースサポーターズネットワークは、若者のチャレンジを応援する団体として、2008年にスタートいたしました。若者の感性、情熱、行動、そして社会に対する思いを鼓舞し、社会が抱える課題に対し、自らが行動し、周囲を巻き込みながら、解決へ取り組む若者の支援を目的としています。

さらに、この取り組みを、持続的、発展的なものにするべく、①困難を抱える若者が社会に参加することのチャレンジの支援、②より良い社会をつくるためにチャレンジする若者の支援を事業の柱に展開してきました。

今ここに『とちぎユースワークカレッジ』がスタートし、働くことに困難を抱える若者の「学びと体験の場」として、ここから新しい働き方とより良い社会をつくるための行動が創造されると信じています。

共同代表 岩井俊宗 【略歴】NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事
宇都宮市民活動サポートセンターボランティアコーディネーター

共同代表 塚本竜也 【略歴】NPO法人NICE 副代表
若者自立塾・栃木 副塾長 他

〒320-0027栃木県宇都宮市塙田2-3-6-1F

TEL/FAX.028-622-8785

E-MAIL. office@tochigi-ysn.net

Blog.『社会事業家に挑戦する若者たち』 <http://blog.canpan.info/tochigi-ysn/>

学長あいさつ

自然の中で学び、力強く明日に役立つ人材を育てる

皆様、このたび新しくできるとちぎユースワークカレッジに参加しませんか。このカレッジは、若者が集い、互いに高め合って総合的な実践力を身につける場です。いま社会は、多くの実際に活動できる若者を求めています。このカレッジでは世の中で活動するときの一般常識やマナー、さらには事務や営業を行うための基本的な社会常識を身につけ、職業人として役立つ人間を育てます。

さらには知的な活動だけでなく、大自然の中でも学習し、生きる喜びを味わいます。

このカレッジは他のどこにもない地域活動のユニークなカリキュラムを持っています。人は太古の昔より森に親しみ、動物や植物を友にして生きてきました。緑の環境の中で若者は友人と額に汗して活動するときに、自分と向かい合い何かがわかるはず。若者は地域を支える大切な人材ですが、それには自分がどのような人であるか自分のことをわかっている必要があります。いまのうちに数多くの経験を積み、多くの友と語りましょう。

自然は若者に大きな人格成長の場を提供してくれます。地域の人たちと共に語り、共に手を取り合って明日の「とちぎ」をつくっていきましょう。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



榎木満生
にれぎみつき

【略歴】

1961年 東京教育大学理学部卒業
 1974年 栃木県立教育研修センター指導主事
 1981年 ミシガン州立大学大学院修士課程終了
 1976年 自治医科大学選任講師、助教授、教授
 1997年 お茶の水女子大学生生活科学発達心理学教授
 2001年 立正大学文学部心理学部学部長
 現在 立正大学名誉教授、
 NPO法人東日本カウンセリングセンター理事

スタッフ

事務局長	横松 陽子	学生担当	清野 香苗
副事務局長 農業プログラム担当	吉井 久乃	地域活性プログラム担当	古河 大輔
環境プログラム担当	大森 里史	経理・総務担当	押久保 高志

「とちぎユースワークカレッジ」は従来の教室スタイルの学びにだけでなく、県内のNPO法人や企業、農林業、環境、地域活性に取り組む実践者と共に、現場での体験を積み、その中で気づき、就労に向けての実感を得られるような学びの新しいスタイルを作ります。

とちぎユースワークカレッジ7大特徴

I 社会が求めるものを学びます！

⇒学んだ内容がその後生かされなければ意味がありません。現代社会が課題としていることや社会が求めることを学び、体験を通して実践につなげていきます。高校などで学ぶ国社数理英は学ばずに社会に直結する学びを追求します。

II 無学年制で中卒なら誰でもOK！

⇒過去の不登校経験や高校中退、ひきこもり体験など大歓迎です。自分のペースで学び、自分のペースで社会に進んでいきましょう！

III 講師陣は現場で活躍する人達です！

⇒環境の現場で活躍するNPOや社会で活躍する人たちが講師です。

IV 社会が求める能力も学べます！

⇒必修科目では、コミュニケーション能力、ビジネスマナー・社会人常識、職業人意識なども学びます。

V 社会のリズムに合わせていきます！

⇒通常の学校が取るような大型の休みは取らず社会の休みに合わせた休暇(お盆休み、年末年始等)を設けます。また、個別休暇も設けます。

VI 本人の希望に合わせて進学も可能です！

⇒高校卒業程度認定試験(大検)、その後の大学・短大・専門学校への進学も可能です。

VII 無理のない社会参加を進めます！

⇒職場体験、インターンシップ、WSプログラムなど、在学中から数多くの職場への機会を作り、無理のない社会参加を進めます。

〈とちぎユースワークカレッジ〉は、不登校体験者やひきこもり経験者、高校中退や無業者の人達が自分のペースで学び自分のスタイルで無理なく社会参加できる学びと体験の場です。

開校期間

平成21年10月1日から
平成22年 3月31日

*年間行事については
クラス運営のカリキュラムを
ご覧ください

日 程

9:30	登校
9:30 ~ 9:45	HR
9:45 ~ 10:45	1時間目
11:00 ~ 12:00	2時間目
12:00 ~ 13:00	昼休み
13:00 ~ 14:00	3時間目
14:15 ~ 15:15	4時間目
15:15 ~ 15:30	清掃
15:30 ~ 16:30	放課後

受講料

入学金 10,000円
授業料 12,000円/月
諸経費 6,000円~10,000円/月

交通費のルール

(フィールドでの授業に関して)

原則、一度学校に集合し、フィールドに行きます。この時に必要な交通費に関しては、毎月集める交通費・備品費より差し引きします。(残金は、卒業時に返金します。)
事前に担当スタッフに許可を取った学生に関しては、直接フィールドに行く事は認めますが、その際にかかる交通費に関しては各自負担になり、交通費・備品費の払い戻しはありません。

入学資格

15歳~39歳 かつ
就学・就労していない人

カリキュラム

週3日からの学び

社会教養	月曜日	必修
環境	火曜日	選択
農業	水曜日	選択
地域活性	木曜日	選択
クラス運営	金曜日	必修

学びのプロセス

1	学 習	興味→知る
2	参 加	知る→ふれる
3	体 験	トライ→楽しむ
4	貢 献	他者が認める→喜び 役に立つ→動機づけ
5	感 動	喜び→自信
6	就労・起業	

スタッフから

「知らない」「わからない」といえるのが、カレッジ！ひとつずつ知る喜び、できる喜びを味わいながら、一緒一歩ずつ進んでいきましょう。
事務局長 横松陽子

学生の皆さんとは直接お会いする機会は少ないと思いますが、いつも事務所におります。パソコン関係が得意なので、パソコンの事など気軽に相談してください。特にパソコンを自作してみたいと思う人は相談してください！

総務・経理担当 押久保高志

社会教養

社会への一步を踏み出す前に、
準備体操として基礎的な知識とルールを身につける、
次のステップへの基礎体力作り
それが社会教養の授業です。

“誠意を込めて対応したのに、相手マイナスのイメージをもたれてしまった。”ビジネスマナーを知らなかった事が、自分では理由がわからないままに人間関係に躓くことにもなります。そこで、社会教養の時間では、電話の受け答えなど基本的なビジネスマナーを学ぶとともに、人を理解し、人に理解してもらうためのコミュニケーション力を学びます。

また、毎週時事問題の解説授業を行い、社会人として“知識がない”という不安を解消し、基礎的教養を高めます。さらに、パソコンの基本操作、ワードとエクセルを6カ月にわたって学び、文書の作成や、計算書などの作成を身につけます。

スケジュール

	授業内容
10月	* 人を訪ねる、手紙を書く(予想される場面でのコミュニケーション) * 時事問題の解説、パソコン実習
11月	* 初めて会う人と話す 挨拶の仕方、電話の受け答え(初対面の人とその場で受け答えする) * 時事問題の解説、パソコン実習
12月	* 人の意見を聞く 人に意見を伝えてみる(自分の意見をまとめる) * 時事問題の解説、パソコン実習
1月	* 会議を開いて決める(意見のやり取りをする) * 時事問題の解説、パソコン実習
2月	* やりたいことを話し合おう やってみよう(自分の内面を話す) * 時事問題の解説、パソコン実習
3月	* 最終イベントに向けて(みんなで一緒にひとつの表現をする) * 時事問題の解説、パソコン実習

* プログラムの内容は天気・講師の予定により変更になる事があります



「やりたいことがないのは不幸なことではない」玄田有史さんが『14歳からの仕事道』の中で最初に言った言葉です。「やりたいことは出会うもの」・・・「出会う」ためにはまず小さな一歩を！そこで知らない誰かとつながることで、自分ひとりではわからなかった新しい発見があるはず です。それは自分の可能性や存在意義、そして働くことの醍醐味かもしれません。ここ「とちぎユースワークカレッジ」で「出会い」「話し」「つながって」次の大きな一歩を踏み出しましょう。 臼井佳子(フリーアナウンサー)

スタッフより

時事問題の解説では、今マスコミが取り上げるニュースを、地図やグラフをつかってわかりやすく解説します。自分には関係ないと思っている事件や記事は、必ずどこかで自分とつながっている、そんな発見がある授業です。 横松陽子

環境

すべてはバランスが大切です
環境も人も
この授業によって心と体の環境を整え
自分の過去を見つめ直して見ましょう
環境を通して未来を学びます。

知識として環境問題を学ぶと同時に、自然の中に身を投げ五感をフルに使うことで自然の偉大さや優しさはもちろん、自然の大切さや厳しさを感じる授業です。自然や人とかかわりながら学んでゆく中で自分を受け入れ、人生を前向きに生きる強さをつかんでいきます。環境教育を通して様々な考え方・生き方・働き方にふれ、前に進むためのきっかけを見つける、そんな授業が環境の授業です。

スケジュール

	授業内容
10月	* 環境教育・体験学習法の理解 * 自然発見ゲーム・紅葉ハイキング
11月	* アウトドアピッツァ作り・秘密基地大作戦 * ゴミ処理施設見学・体験学習
12月	* シティーチャレンジ・前半振り返り * 地球温暖化についての学習
1月	* 食育プログラム・リスクマネジメント
2月	* 真冬ハイキング・アクティビティデザイン実習
3月	* 体験発表会・振り返り

* プログラムの内容は天気・講師の予定により変更になる事があります



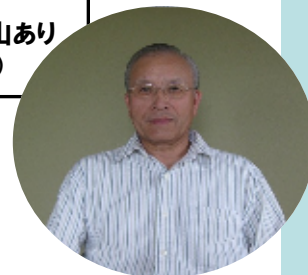
大切なのは、「できる、できないじゃない。やるか、やらないか。」まずは、行動すること。アクションを起こすこと。
人も社会も地球も何とかしたいんだよね。で、あなたは何をやる？
金井聡(NPO法人国際自然大学校)

「明日のエコでは間に合わない」、NHKテレビで目にする言葉です。地球温暖化問題は、待たないで人類の存在が問われているのです。私達は、いま地球上に発生している気候変動の異常を体験しています。しかし、どれだけの方が地球の危機を知って、行動を起こしているのでしょうか。

講座では、地球温暖化の危機をお話します。私達がやるべき事が沢山あります。
清水映夫(栃木県地球温暖化防止活動推進員)

スタッフより

カレッジに通い学生生活を送る中で様々な“きっかけ”に出会うと思います。その出会いを逃さないように環境プログラムを通して心と体を鍛えておきましょう。待っています。 大森里史



農業

生活スタイルが変わり、
生産者と消費者との距離は広がる一方の現在、
具体的にイメージすることが難しい「農業」を
一から学びます。

若者が都市近郊に流出し、農村地域での過疎化や高齢化が深刻な問題となっています。高齢化に伴い、農地として管理できない耕作放棄地が増加し、国土保全、食料自給率は向上は今後の日本を考える上でも重要です。今回の農業プログラムでは、耕作放棄地を訪問し、開墾・種まきから収穫までの一連の流れを自分たちの手足を使いながら学びます。また、農作物を育てる人、加工する人、販売する人など、農業に関わる職場を訪問します。そして私たちの日々の暮らしに密接する「食」について改めて考え、生きていくための基本的な知識を学びます。

スケジュール

	授業内容
10月	* 日本における農業の現状、農家の一年 * 畑実習：土について、開墾と種まき
11月	* 日本の有機農業、流通 * 畑実習：畑の手入れ、肥料撒き
12月	* いちご農家さんのお手伝い、農業施設の見学 * 畑実習：畑の手入れ、野菜の収穫
1月	* 日本の昔ながらの食事「味噌づくり」や牛舎見学 * 畑実習：畑の手入れ、野菜の収穫
2月	* 海外での農業と調理実習 * 畑実習：畑の手入れ
3月	* 農業を仕事にする方法に向けて * 畑の整備：来年に向けての土の整備

* プログラムの内容は天気・講師の予定により変更になる事があります

お野菜、お野菜を盛るお皿、食べるお箸。
自分が生きていくために必要なものを、自分で作れる術を身につけましょう。自分で作るものだから自分の丈に！靴に自分のサイズがあるようにお箸にもサイズがあるんです！

池田正光（農業）



スタッフより

私たちのココロとカラダを支えている農業・食事。これからの世界・日本を考える上でもとても大切な事です。一緒に「農業」について考え、行動しましょう！

吉井久乃

地域活性

“地域を活性化する”

文言から受け取る印象は、何か堅苦しい。言葉を変えてみよう。
 “まちづくり” “地域を元気にする” “地域をもっと心地よい居場所にする”
 つまりはそういうことです。

地域活性の授業では、都市と農山村、2つの異なるフィールドを主な活動地とし、各地域で生きる人々の息遣いに触れ、繋がりを作っていく事で、住民と私達、お互いの顔に自然と笑顔がこぼれるような交流をしていきます。具体的には、宇都宮市内のコミュニティカフェでの運営の補助や地域活性化に取り組んでいる団体への訪問・体験、ボランティア活動への参加を行います。そして、最終的には皆で“地域を元気にするイベント”を企画から実行までを行います。

まちづくりは人づくり。まちづくりの現場で頑張っている人、そこに関わる人々の表情・生き方・価値観・生き甲斐・様々な想いを肌で感じ、動けば変わることを実感できる授業です。たった一つの出会いが、生き方を変えるきっかけになります。「こんな風だったらおもしろい」という想いを、少しずつ形にしましょう。

スケジュール

	授業内容
10月	* 地域活性って何？①(座学・講演) * まちづくりの現場に触れてみよう①(地域訪問)
11月	* まちづくりの現場に触れてみよう②(イベント参加・運営補助)
12月	* イベントの企画・運営補助をしよう
1月	* 地域活性って何？②～五感で感じたモノを共有しよう(座学・講演) * まちづくりの現場に触れてみよう③(イベント参加・運営補助)
2月	* イベント企画会議 * イベントの準備をしよう
3月	* 最後の締めくくり 皆の力を合わせて、イベントを実施しよう * 半年間の振り返り

* プログラムの内容は天気・講師の予定により変更になる事があります



あまり難しく考えないで、とにかく「楽しみながら」取り組みましょう^^

陣内雄次(宇都宮大学教授)

スタッフより

様々な想いをもって入学してきてください。みなさんの想いを形にするために、楽しい6ヶ月間を一緒に創り上げましょう。

古河大輔

必修

クラス運営

金曜日は、特定のテーマを設けない時間です。
学生の皆さんからの希望や提案なども取り入れ、
楽しくリラックスした気持ちで
1週間最後の日を過ごします。

クラス運営は全員参加のプログラムになります。
午前中は、さまざまな行事やそれに向けての準備、自分自身を見つめ理解していくための「自己分析」の時間や、みんなで軽い運動をして汗を流したり、料理(昼食づくり)に挑戦したりといった内容を予定しています。午後は、1週間をふりかえり、それぞれが体験したことや感じたことをまとめ、それを共有し分かち合いながら、自分自身や仲間の変化、疑問や課題、気づいたことなどを自由に語り合い、お互いの理解や関係性を深めていく時間です。

スケジュール

	授業内容	年間行事(予定日)
10月	* 自己分析①(エゴグラム) * 体を動かそう(ストレッチ)	* 開校式(10/1) * オリエンテーシ(10/2)
11月	* 自己分析②(カラーテスト) * 料理に挑戦しよう(昼食づくり)	* 体育祭(11/6) * 保護者会(11/11) * 栃木教育の日への参加(11/14)
12月	* 遠足(1/22)の計画・準備 * 今年をふりかえって	* 若者フェスタ(12/6) * クリスマス会(12/25)
1月	* キャリア講習 * 自己分析③(VPI職業興味検査)	* 書き初め・鏡開き(1/5) * 遠足(1/22)
2月	* 体を動かそう(バトミントン) * オープンキャンパスに向けての 計画・準備	* オープンキャンパス(2/21-2/26) * 保護者会(2/17)
3月	* 自己分析④(エゴグラム) * 映画鑑賞&ディスカッション	* 終業式(3/12) * 卒業式(3/19)

* プログラムの内容は天気・講師の予定により変更になる事があります



僕は中学2年から3年間のひきこもりをしました。しかし、一歩踏み出しチャレンジした時から、たくさんの人と出会い、豊かな人生になってきました。僕の体験や知識が、みなさんの力になればと思います。失敗を恐れず挑戦しよう。 山本和彦(ホワイトキャンパス)

スタッフより

カレッジでの沢山の出会いや経験を通して、皆さん一人一人が「自分らしい生き方」をみつけてもらえるよう、一緒に学び・感じ・悩み・考えながら、共に走る伴走者のような存在として、応援し寄り添っていきたくと思っています。
清野香苗

講師

陣内雄次	宇都宮大学教授	地域活性
金井 聡	NPO法人国際自然大学校コーディネーター	環 境
根本泰昌	Y'sティーネットワーク株式会社代表取締役社長	地域活性
横松盛人	青年海外協力隊OB、元中学校教諭	クラス運営
池田正光	農業	農業・地域活性
清水映夫	栃木県地球温暖化防止活動推進員	環 境
山本和彦	ホワイトキャンパス	クラス運営
倉本祐樹	NPO法人Youth Nest Factory代表	地域活性
倉谷昌良	とちぎ夢計画	地域活性
平出清一	プレーパーク秘密基地で遊ぶ会代表	環 境

アドバイザー

工藤 啓	NPO法人「育て上げ」ネット理事長
甲斐良治	(社)農山漁村文化協会 編集局
大石剛史	国際医療福祉大学ボランティアセンター長
臼井佳子	栃木県教育委員会委員、フリーアナウンサー NPO法人宇都宮国際交流協会理事長
松島 昇	財団法人自然環境研究センター研究主幹
中野謙作	とちぎ若者サポートステーションセンター長

協賛・支援団体

NPO法人宇都宮まちづくり市民工房	NPOユースネストファクトリー
NPO法人とちぎボランティアネットワーク	地域子ども若者サポートセンター学び舎コア
NPOトチギ環境未来基地	とちぎ若者サポートステーション
NPO法人 ゆいの里	企業組合とちぎ労働福祉事業団

若年無業者支援事業 とちぎユースワークカレッジ

栃木県宇都宮市宮園町8-2松島ビル4F
TEL/FAX.028-638-5502

